

III. 調查結果

1. 環境の状況についての実感(問1)

1-1 地域レベル、国レベル、地球レベルの環境の実感(比較)

環境がよくなったと実感する比率は、いずれのレベルにおいても低下している。

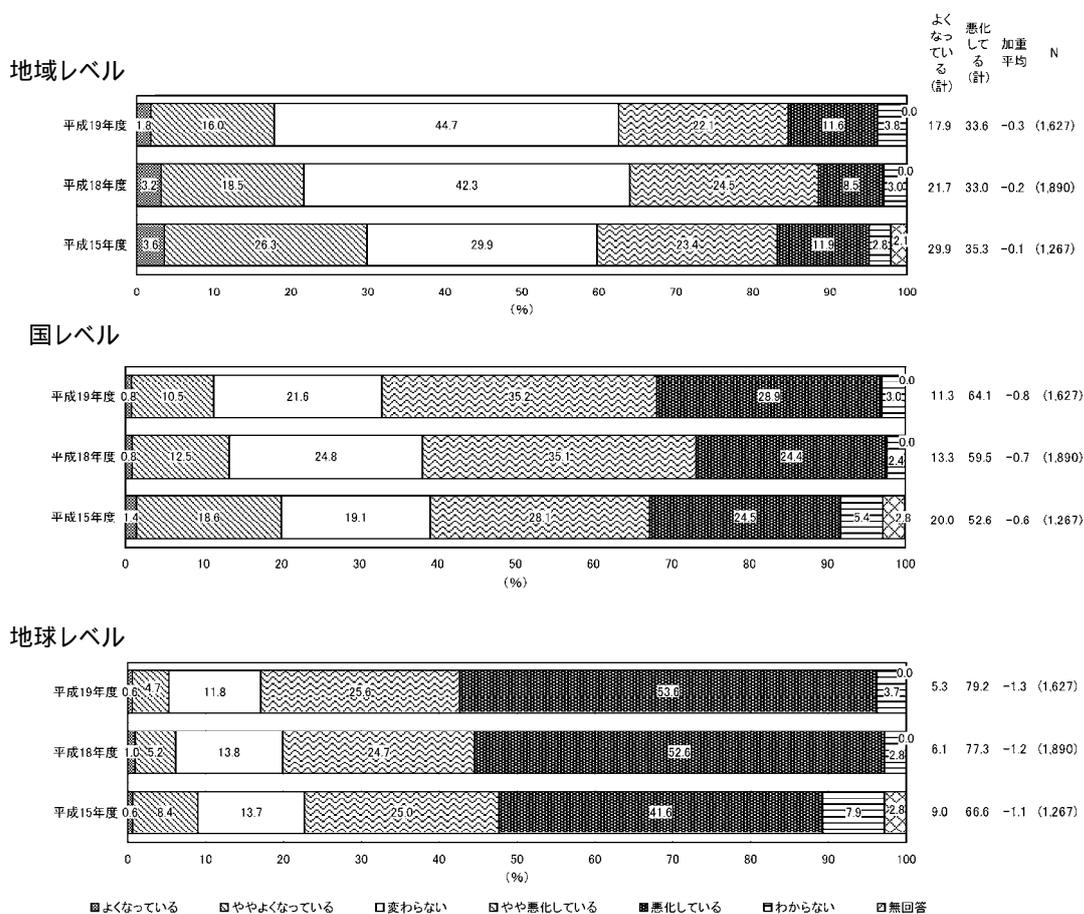
環境悪化を実感する比率は、地域レベル、国レベル、地球レベルいずれにおいても上昇しており、全体的に環境の状況を深刻に捉えている傾向にある。

環境が悪化していると実感する比率は、地球レベルで8割と高く、国レベル、地域レベルと身近になるにつれ低下しており、環境の悪化を身近な問題としては捉えていない傾向にある。

近年の環境の状況についての実感を地域、国、地球の3レベルに分けて尋ねたところ、「よくなっている」と実感する比率(「よくなっている」「ややよくなっている」の合計)は、地域レベルで18%、国レベルで11%、地球レベルで5%となっている。前回調査と比較してそれぞれが低下している。

一方、「悪化している」と実感する比率(「悪化している」「やや悪化している」の合計)は、地域レベルで34%、国レベルで64%、地球レベルで79%である。前回と比較して、それぞれが増加しており、環境悪化を実感する比率が高い。また、「悪化している」と実感する比率は、地球レベルで79%と高く、国レベル、地域レベルと身近になるにつれ低下しており、環境の悪化を身近な問題としては捉えていない傾向にある。

図表 1-1 地域レベル、国レベル、地球レベルでの環境の実感(全体)



注)この項の加重平均は、「よくなっている」に2点、「ややよくなっている」に1点、「変わらない」に0点、「やや悪化している」に-1点、「悪化している」に-2点を与えて算出した。

1-2 地域レベルの環境の実感

地域レベルでの環境悪化を実感する比率は全体の 34%を占める。環境が悪くなったと実感する比率は、年齢別では 40 代、職業別では農林漁業が高い。

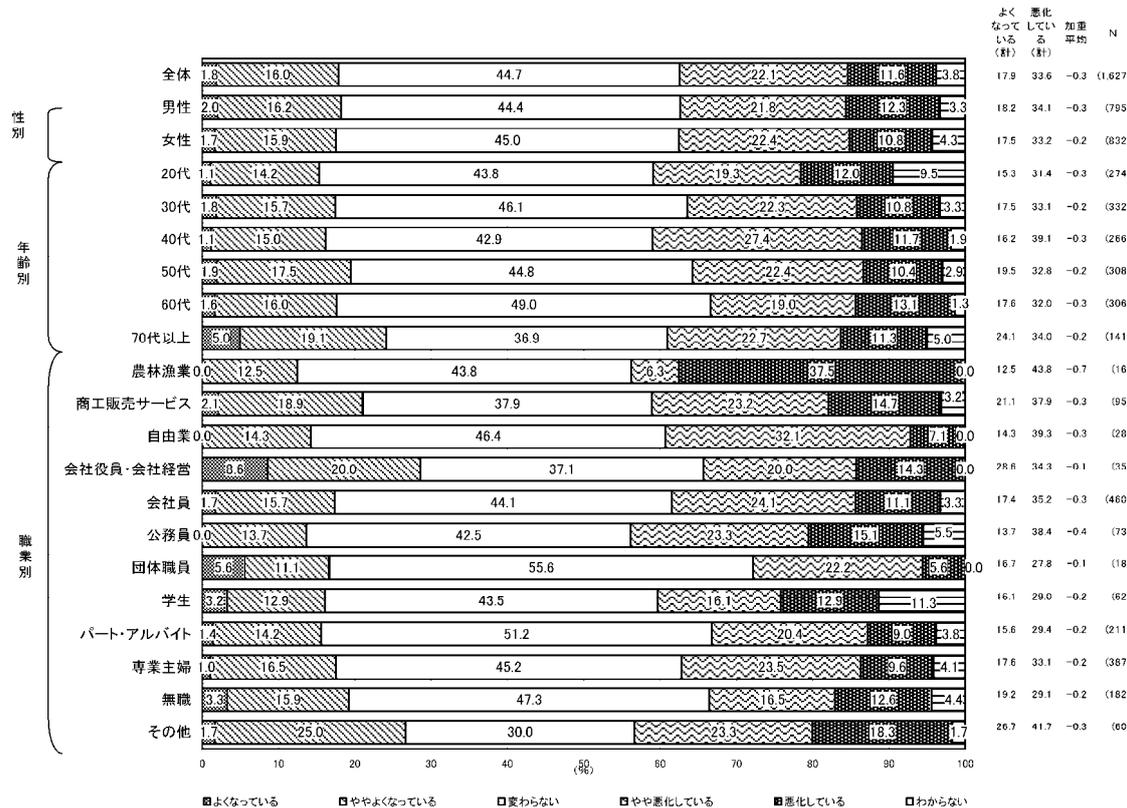
地域レベルでの環境について、「悪化している」と実感するの比率（「悪化している」「やや悪化している」の合計）は 34%で、「よくなっている」と実感するの比率（「よくなっている」「ややよくなっている」の合計）（18%）を上回っている。

性別では、あまり差は見られない。

年齢別では、環境が「よくなっている」と実感する比率は、70 代が比較的高く（24%）、20 代が比較的低い（15%）。一方、環境が「悪化している」と実感する比率は、40 代が比較的高く（39%）、20 代は比較的低い（31%）。

職業別では、「よくなっている」と実感する比率は、会社役員・会社経営が高く（29%）、「悪化している」と実感する人の比率は農林漁業が高い（44%）。

図表 1-2 地域レベルでの環境の実感(性別、年齢別、職業別)

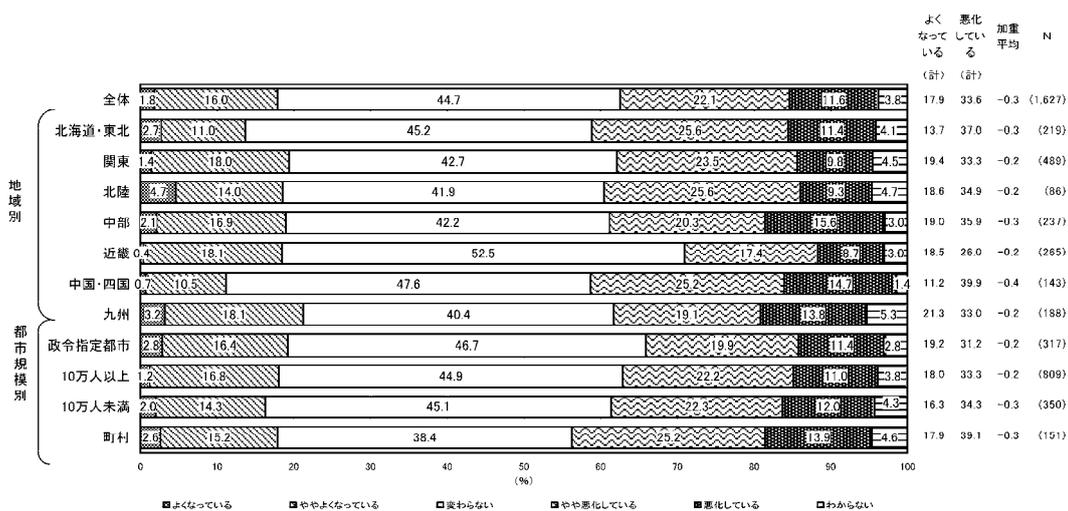


注)この項の加重平均は、「よくなっている」に 2 点、「ややよくなっている」に 1 点、「変わらない」に 0 点、「やや悪化している」に -1 点、「悪化している」に -2 点を与えて算出した。

地域別にみると、中国・四国地方が他の地域よりも「よくなっている」と実感する比率が低く(11%)、「悪化している」と実感する比率が高く(40%)、地域の環境を深刻に捉えている傾向にある。北海道・東北地方もこれに次いでいる(「よくなっている」14%、「悪化している」37%)。

また都市規模別にみると、規模が小さくなるにつれて「よくなっている」と実感する比率が低く「悪化している」と実感する比率が高くなり、地域の環境を深刻に捉えている傾向にある。

図表 1-3 地域レベルでの環境の実感(地域別、都市規模別)



注)この項の加重平均は、「よくなっている」に2点、「ややよくなっている」に1点、「変わらない」に0点、「やや悪化している」に-1点、「悪化している」に-2点を与えて算出した。

1-3 国レベルの環境の実感

国レベルでは、全体では環境が悪化していると実感する比率が64%を占める。環境が悪化していると実感する比率は、年齢別では60代が最も高く、職業別では農林漁業、自由業が高い。

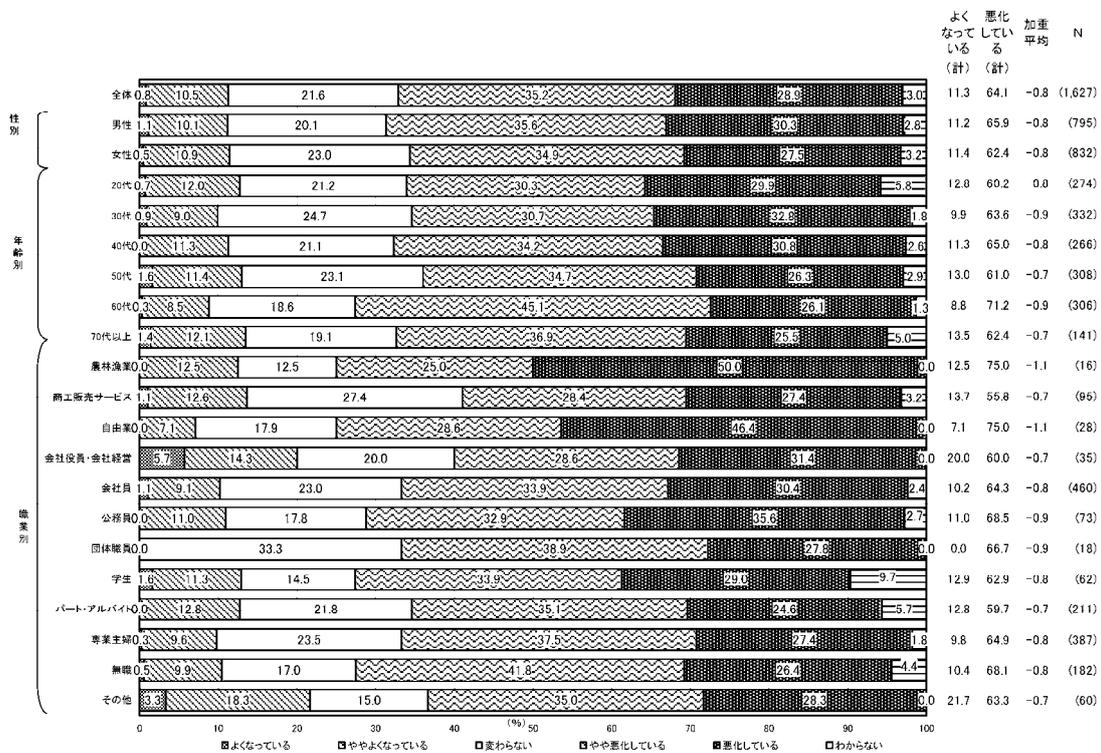
国レベルでの環境の状況については、「悪化している」と実感する比率（「悪化している」「やや悪化している」の合計）が64%を占め、「よくなっている」と実感している比率（「よくなっている」「ややよくなっている」の合計）（11%）を大きく上回っており、国レベルでの環境の状況を深刻に捉えていることが伺える。

性別では、あまり差が見られない。

年齢別では、60代が「よくなっている」と実感する割合が最も低く（9%）、「悪化している」と実感する比率が最も高い（71%）。

職業別では、農林漁業と自由業が「悪化している」と実感する比率が高い（ともに75%）。

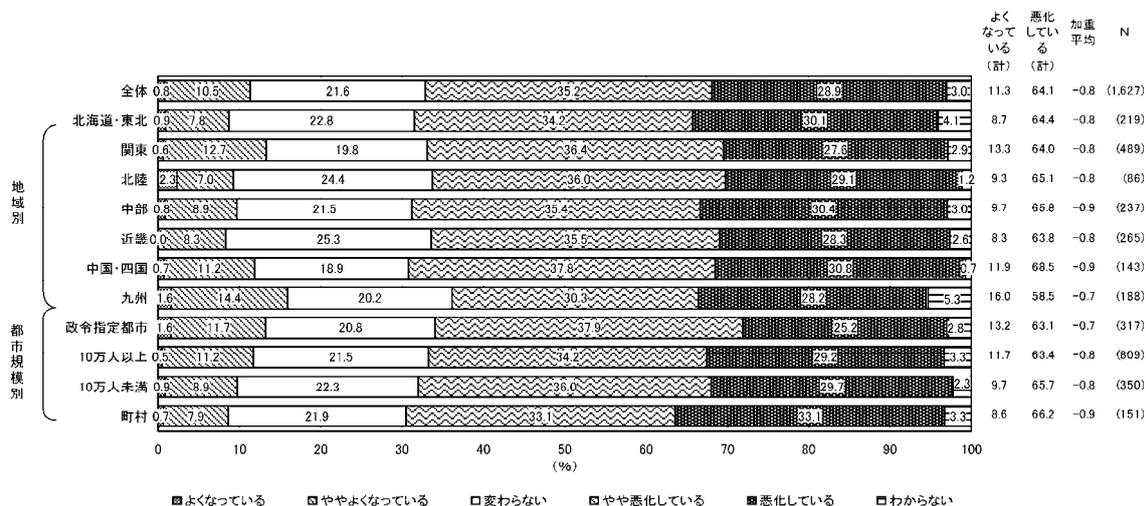
図表 1-4 国レベルでの環境の実感(性別、年齢別、職業別)



注)この項の加重平均は、「よくなっている」に2点、「ややよくなっている」に1点、「変わらない」に0点、「やや悪化している」に-1点、「悪化している」に-2点を与えて算出した。

都市規模別にみると、地域レベルと同様に、規模が小さくなるにつれて「よくなっている」と実感する比率が低くなり「悪化している」と実感する比率が高くなる。国レベルでの環境を深刻に捉えている傾向にある。

図表 1-5 国レベルでの環境の実感(地域別、都市規模別)



注)この項の加重平均は、「よくなっている」に2点、「ややよくなっている」に1点、「変わらない」に0点、「やや悪化している」に-1点、「悪化している」に-2点を与えて算出した。

1-4 地球レベルの環境の実感

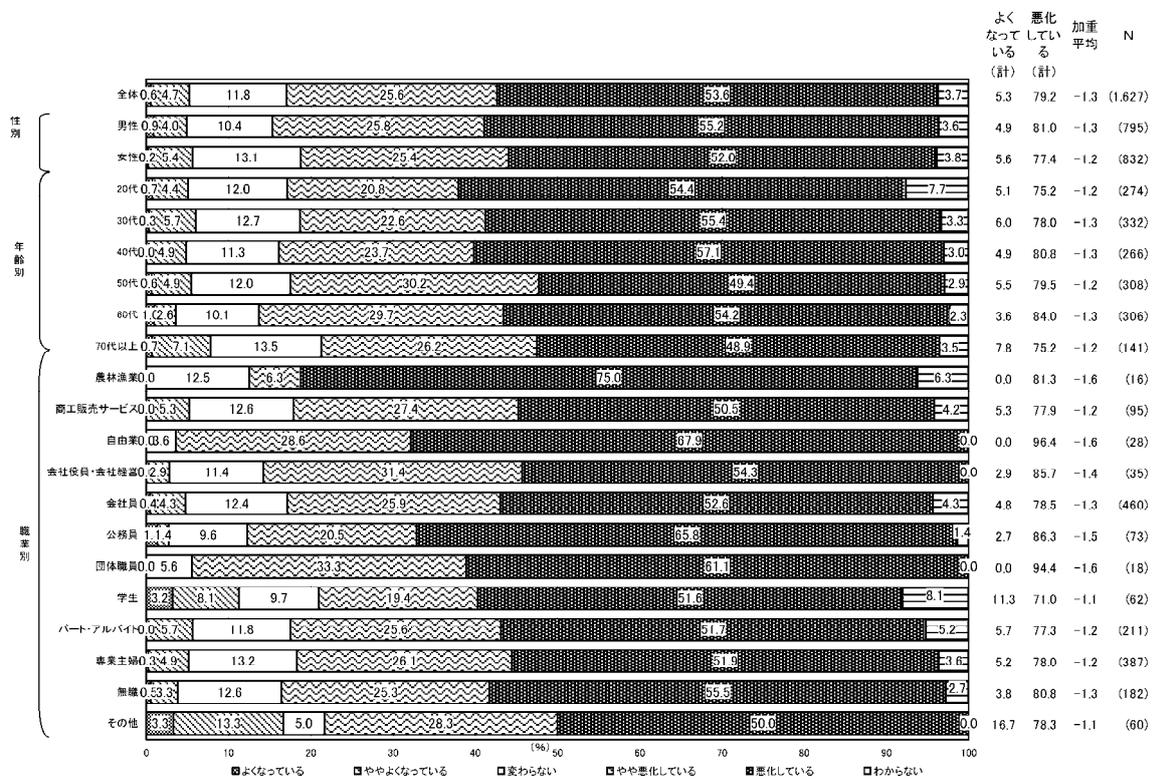
地球レベルでの環境悪化を実感する比率が全体の 79%を占める。性別では男性の方が悪化していると実感する比率が高く、年齢別では60代、職業別では自由業、地域別では北陸が高い。

地球レベルの環境については、全体では 79%が環境の状況が「悪化している」（「悪化している」「やや悪化している」の合計）と実感しており、地域レベル、国レベルよりも深刻に捉えられている傾向にある。

性別でみると、男性の方が「悪化している」と実感する比率が高く（81%）、年齢別にみると、60代が高い（84%）。

職業別でみると、「悪化している」と実感する比率は、自由業（96%）、団体職員（94%）、公務員（86%）、会社役員・会社経営（86%）が高い一方で、学生はやや低い（71%）。

図表 1-6 地球レベルでの環境の実感(性別、年齢別、職業別)

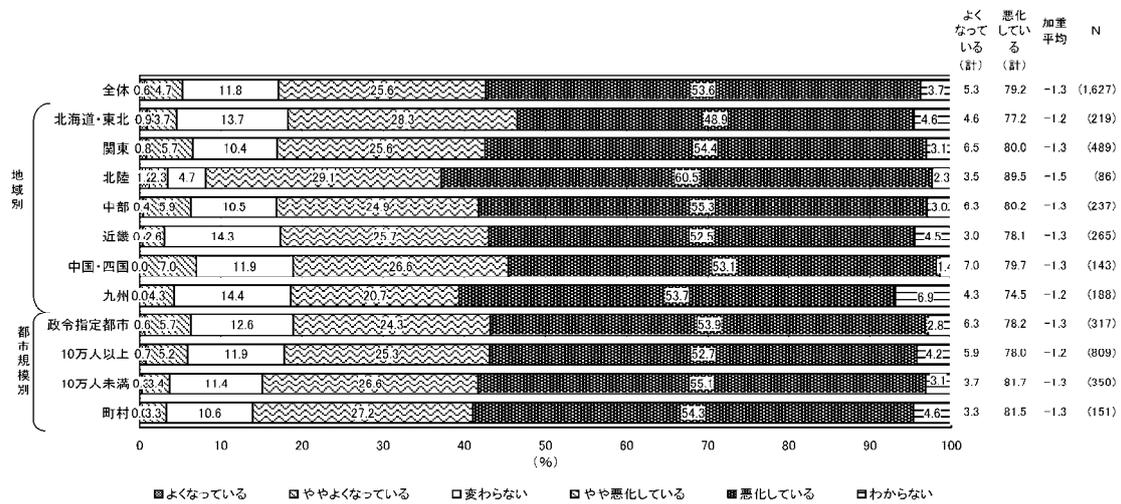


注)この項の加重平均は、「よくなっている」に2点、「ややよくなっている」に1点、「変わらない」に0点、「やや悪化している」に-1点、「悪化している」に-2点を与えて算出した。

地域別にみると、北陸地方で「悪化している」と実感する人の比率が高い(90%)。

都市規模別にみると、地域レベル、国レベルと同様に、規模が小さくなるにつれて「悪化している」と実感する傾向にある。

図表 1-7 地球レベルでの環境の実感(地域別、都市規模別)



注)この項の加重平均は、「よくなっている」に2点、「ややよくなっている」に1点、「変わらない」に0点、「やや悪化している」に-1点、「悪化している」に-2点を与えて算出した。